



今井 亮太郎  
Ryotaro  
Imai

---

ピアニスト  
ハモンド・オルガン奏者  
鍵盤ハーモニカ奏者  
作曲家・編曲家  
プロデューサー

# Play Field

◎ピアニスト・オルガン奏者・鍵盤ハーモニカ奏者

◎作曲家・編曲家・プロデューサー

リオデジャネイロで学んだブラジル音楽をベースに、地元である湘南の明るく自由な空気を掛け合わせて独自のスタイルを築き上げており、トップミュージシャンからの評価も高い。ピアノを楽しく鳴らしながら観衆の心をあたたかくつつみ込むピースフルな演奏が人気を博している。

◎演奏スタイル

・ピアノ・ソロ演奏／ご要望に応じて、デュオ（例：ピアノ+フルート、ピアノ+ギター…など。トリオ：例ピアノ+ドラムス+ベースなど。フルバンド、ブラスバンド共演など、あらゆるご要望検討対応可能）。

・洋楽・邦楽のカヴァーは、アレンジ譜面制作から、あらゆるリクエストに応じたストレート・カヴァーまで検討対応可能。

・ご要望に応じて、校歌・社歌など、作曲も検討可能。

・エレクトリック・ピアノ、オルガン、鍵盤ハーモニカの楽器類持込可能。

・PA機材…ミキサー／スピーカー所有～小規模会場持込可能

（大規模会場もご予算次第でご用意可能）。

■実績

・日本コロムビアより9枚（BEST、コンピ含む）のリーダー・アルバムをリリース（自主制作で2枚リリース）。最新作は2023年3月8日、今井亮太郎の名曲からファンによる人気投票で選曲した『今井亮太郎メジャーデビュー10周年記念リクエストベスト～Seus Dez～』。

・クロマチック・ハーモニカ奏者・山下侘のデビューアルバム『Beautiful Breath』他、プロデュース作品、音楽家として参加作品、多数あり。

・横浜市立飯田北いちょう小学校校歌の制作(作詞・作曲)。

・ライブ…月に数本のペースで、東京・神奈川を中心に展開中。北陸エリアにも拠点を持つ。北海道から九州・沖縄まで移動可能。

・最新ライブは2023年3月14日に東京・コットンクラブにて、ゲストに世界的アコーディオン奏者cobaを招いて開催～大成功を収める。



◎神奈川県平塚市出身

■実績

・2013年、2014年と2年続けて地元・平塚市民センター大ホールでの1,000名動員のコンサートに成功。

・2020年11月には2,000名収容のホール、カルッツかわさきでの今井亮太郎グループのコンサートに成功させた。このコンサートでは小野リサとの共演も果たす。

・2015年、平塚市が作成したプロモーション映像「小さな命」に楽曲使用（「セピア・ホーザ」）。

・2022年1月にはビルボードライブ横浜にて、さらに11月には1,200名収容の地元平塚市の新ホール・ひらしん平塚文化芸術ホールにて、今井亮太郎コンサートが開催され大成功を収めた（スペシャルゲスト小野リサ、藤川靖彦主宰の花絵アート“インフィオラータ”のコラボ企画、母校・県立大磯高校吹奏楽部とのコラボ演奏…などを実現）

◎ラジオ・パーソナリティー

・現在、FM狛江(コマラジ)でパーソナリティを担当する番組『Bossa da Comaidade』も好調。

# Profile

(問) プライアズール  
今井亮太郎事務所

〒254-0031

神奈川県平塚市天沼9-87

ヨネザワ楽器内

[info@ryotaroimai.net](mailto:info@ryotaroimai.net)

- ・ 今井亮太郎。1966年生まれ A型 やぎ座。神奈川県 平塚市 出身。BossaNova、Sambaのピアニスト・オルガン奏者・鍵盤ハーモニカ奏者・作曲家・編曲家・プロデューサー。神奈川県平塚市出身。
- ・ ブラジル音楽専門のピアニスト・オルガン奏者として、日本各地のイベントやライブ、レコーディングに参加。テレビやラジオにも多数出演中。リオデジャネイロで学んだブラジル音楽をベースに、地元である湘南の明るく自由な空気を掛け合わせて独自のスタイルを築き上げており、ブラジルのトップミュージシャンからの評価も高い。ピアノを楽しく鳴らしながら観衆の心をあたたかくつつみ込むピースフルな演奏が人気を博している。
- ・ 2013年、2014年と2年続けて地元・平塚市民センター大ホールでの1,000名動員のコンサートを成功させた。このコンサートでは、収益の一部より平塚市の全小中学校に絵本を寄贈している。また、横浜市立飯田北いちよう小学校校歌の制作(作詞・作曲)や、平塚市のプロモーション映像の音楽を担当するなど、活動は多岐に渡っている。プロデューサーとしての評価も高く、クロマチック・ハーモニカ奏者・山下侘のデビューアルバム『Beautiful Breath』や赤羽泉美&亀井恵『ホワイト・ボッサ〜Sweet Bossa Cafe〜』をはじめ、数々の作品を送り出している。2019年からは、 Hammondオルガン奏者としての活動も開始。往年の名オルガン奏者ワルター・ワンダレイを彷彿させるプレイが大きな話題となっている。2020年11月には2,000名収容のホール、カルッツかわさきでの今井亮太郎グループのコンサートを成功させた。このコンサートでは小野リサとの共演も果たす。
- ・ 2011年、自身の主催するマランドロレコードよりインディーズアルバム『湘南-リオデジャネイロ』をリリース。2013年1月、満を持してのメジャーデビュー・アルバム『ピアノ・サウダージ -featuring Izumi Akahane-』を日本コロムビアよりリリース。気持ちが熱くなるSambaから、せつなさ溢れるバラードまで、演奏家のみならず、作曲家としても広い認知を得た。その年の夏、7月3日には早くもメジャー2ndアルバム『ピアノ・ジョビン』をリリース。自身のルーツであるアントニオ・カルロス・ジョビンのナンバーを、ピアノ1本だけで奏でて、ピアノによるブラジル音楽の魅力を世に示した。2014年3月には、今まで以上に強烈なダンスチューンを中心にした3rdアルバム『ピアノ・バトゥカーダ』をリリース。命の鼓動のようにピアノを響かせる独自の奏法で情熱的なサンバ・ボサノバを奏でた。2015年2月には、今井亮太郎の過去の作品からのバラードベスト的な選曲でコンパイルされたアルバム『ピアノ・カフェ〜ヒーリング・ボッサ〜』を、続いて5月にはメジャー4作目となる『コバルト・ダンス』をリリース。紺碧の空と海に向けて情熱的なピアノを奏で、ブラジル音楽界に大きなウェーブを巻き起こしている。2018年6月には、待望のベストアルバム『今井亮太郎 ザ・ベスト〜リオデジャネイロ→東京〜』をリリース。2020年7月には、Hammondオルガンを全面的にフューチャーし映画音楽をボサノバにアレンジしたメジャー5作目のアルバム『シネマ・ボッサ』をリリース。10月にはスタンウェイでのピアノソロコンサートの模様を収録したLIVEアルバム『独奏〜at Hall〜』をリリース。また、9月にボサノバシンガーKaren Tokitaとの共作での配信限定シングル『海辺のカフェの水曜日』(日本コロムビア)をリリース。そして2021年9月、Hammondオルガンをメインに全曲今井亮太郎のオリジナル楽曲で奏でたメジャー6作目のアルバム『オルガニスタ・イマインダレイ』をリリース。このアルバムではゲストに小野リサも参加し、今井亮太郎の楽曲に小野リサが作詞をした「Tudo Bem」も収録。2022年1月にはビルボードライブ横浜にて、11月には1,200名収容の地元平塚市の新ホール・ひらしん平塚文化芸術ホールにて、今井亮太郎コンサートが開催され、それぞれ大成功を収めた。
- ・ 2023年3月8日、今井亮太郎の名曲からファンによる人気投票で選曲した『今井亮太郎メジャーデビュー10周年記念リクエストベスト〜Seus Dez〜』を日本コロムビアよりリリース。
- ・ 現在、FM狛江(コマラジ)でパーソナリティを担当する番組『Bossa da Comaidade』も好調。
- ・ 作曲、演奏、プロデュース、ステージパフォーマンス……いずれもその勢いはとどまることを知らない。

今井亮太郎 公式ホームページ <http://ryotaroimai.com/>

blog [https://blog.goo.ne.jp/ryotaro\\_pianista](https://blog.goo.ne.jp/ryotaro_pianista)

Facebook [https://www.facebook.com/imairyotaro/?locale=ja\\_JP](https://www.facebook.com/imairyotaro/?locale=ja_JP)

Instagram [https://www.instagram.com/ryotaro\\_pianista/?hl=ja](https://www.instagram.com/ryotaro_pianista/?hl=ja)

Youtube <https://www.youtube.com/channel/UCEZiYmt4OCJUPyZURd1mNDA>

今井亮太郎 | 日本コロムビアオフィシャルサイト <https://columbia.jp/artist-info/imairyotaro/>

